

1 めざす生徒像 【生徒アンケートより】

○ 目標値達成 ▲ 目標値未達成

		今年度達成目標	今年度達成率
〈知〉 学びの心	授業が分かる	80%以上	○ 84.5%
	授業でもっと知りたい	70%以上	○ 70.7%
〈徳〉 思いやりの心	学校が楽しい	90%以上	▲ 85.5%
	安心できる学級	80%以上	○ 84.5%
〈体〉 鍛える心	朝食を食べて登校	95%以上	▲ 91.4%
	部活動が楽しい	90%以上	▲ 83.2%

2 保護者が学校に期待すること【保護者アンケートより】

「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と答えた保護者の割合

・ 確かな学力の育成

昨年比

「学校の授業がわかる」と言っている	70.7% (+5.7)
帰宅してから宿題を含めて「1時間以上の学習」をしているようだ	50.3% (+5.7)
学校は、一人ひとりに応じた支援を行い、学力を伸ばす努力をしている	81.9% (+1.7)

・ いじめのない学校づくり

お子さんは、「学級が安心して過ごせる場所」だと感じている	89.2% (+4.6)
子どもが気軽に話したり相談したりできる「先生」がいる	86.7% (+2.0)
三者面談などを含めて「困ったことが相談できる雰囲気」がある	86.7% (+0.5)
学校は、子どもの安全確保や健康管理のための取り組みを十分行っている	98.6% (+4.2)

・ 自他を思いやる心の育成

自分を大切にするとともに、友だちや他人を思いやることができる	96.7% (+1.6)
--------------------------------	--------------

3 教職員自己評価

〈学習面〉

- ・ 研修テーマ「確かな学力の育成に向けた授業改善」を意識して、授業改善に取り組んだ。82.2%
- ・ 「主体的・対話的で深い学び」について理解している。92.9%
- ・ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に取り組んだ。76.9%
- ・ キャリア教育推進に向けた研修に取り組んだ。100%

〈生活面〉

- ・ 不登校、別室登校の生徒に対して、学年・学校体制で適切な指導をすることができた。100%
- ・ 「いじめ防止等のための基本的な方針」に沿って、学年・学校体制でいじめの未然防止、早期発見、早期対応に努めることができた。100%
- ・ 教師と保護者の間により関係を築き、いつでも連携が取れていた。100%
- ・ 教師と生徒の間に信頼関係があり、いつでも相談できる雰囲気がある。93.3%

考察：研修主任を中心に校内研修においてキャリア教育について理解を深めると共に、教師及び生徒がキャリア視点から伸ばしたい力を授業の中で意識できるよう工夫した。また、生徒の学ぶ意欲を触発するため、「授業開始の10分間の工夫と終末の一貫性」を確かなものとするため授業公開を積極的に行うことができた。以上から、教職員による自己評価が高かったものと考えられる。

4 学校関係者評価

2月28日（月）に開催した学校評議員会において、自己評価結果及び考察について委員に報告。委員からは以下のような意見があった。

- ・ 教職員の努力により、生徒が安心して通える学校になりつつあり、生徒や保護者の学校に対する信頼が高まりつつある。
- ・ 授業について行けない生徒に対する個別の手立てを工夫する必要がある。
- ・ ますます多国籍になる中、外国につながる生徒との互いに支え合う共生関係づくりに期待する。

5 学校関係者評価を受けて

学校関係者評価を基に、以下の点について改善を図る。

- ・ 生徒の学習に対する困り感を丁寧に把握すると共に、学習内容の定着を図るため、評価と指導の一体化について研修を深めたり、家庭学習の取り組ませ方を工夫したりする。
- ・ 来年度、校内に設置される外国人初期指導拠点校「江南教室」との効果的な交流について検討する。
- ・ 多国籍な級友と共に生活することが日常となっている生徒たちと多文化理解や多文化共生について、改めて考える機会を意図的に設ける。